

令和6年度 第2回 都留市総合教育会議 議事録（概要）

日 時：令和7年1月31日（金）午後3時00分～午後3時30分

場 所：都留市役所2階 市長公室

出席者：小林教育長、小俣委員、小笠原委員、村上委員、弓指委員、中野委員
市長、総務部長、教育次長、企画課長、学校教育課長、学校教育課長補佐、
生涯学習課長補佐、企画課長補佐、教育企画推進室長、
教育指導主事、教育企画推進室リーダー、企画担当リーダー、企画担当

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

（1）都留市教育振興基本計画（案）について（説明者：教育委員会事務局）
詳細は「資料1 第3期都留市教育大綱・都留市教育振興基本計画（案）」のとおり

⇒ 提案のとおり決定

【主な発言】

（小笠原委員）

まずは給食費の無償化について、改めて感謝申し上げる。厳しい財政状況であることは承知しているが、保護者の負担軽減につながるため、継続していただくとありがたい。

計画の内容について、18Pの「検定受験による英語力の向上」の記載があり、この目標指標として「CEFR A1」レベル相当以上を達成した生徒の割合を設定しているが、本市の現況値は県平均と比較すると10%程度低い。幼保連携による英語教育を推進していくと思うが、英語力の向上に向けて、検定受験に要する費用の助成を合格者に限定するのではなく、受験した者全員に行っていただきたい。財政面での負担は増すが、ぜひ検討いただけるとありがたい。

（中野委員）

富士吉田市内の中学校に英語教諭として勤務している。数年前までは英語特区に指定された中学校の生徒のみ、実用英語技能検定の受験費用の助成を年度内で1回受けることができたが、昨年度からは助成対象者を市内全中学校に拡大している。教育予算の兼ね合いもあるが、本市においても同様の助成を行っていただくことで、子どもたちの学びに対する意欲の向上にもつながると思う。

⇒ 切れ目のない学校教育の推進のため、現在は保育園に外国人指導員を配置し、幼少期からの英語力の向上に努めている。現状として実用英語技能検定の助成対象は合格者のみとなっているが、今後は受験費用そのものに対する助成を行えるよう担当において制度設計を検討させていただく。（学校教育課長）

- ・給食費の無償化については恒久的に行っていきたいと考えている。英語力や学力の向上に向けてご意見のあった検定に対する助成のほか、様々な施策を検討・実施しているところである。取組を進めていく中で成果が出てくると思うが、教育長はじめ教育委員会とも連携を図りながら今後とも教育施策を推進してまいりたい。(市長)

(村上委員)

25Pの「ICT機器端末の活用状況」について、小学校で約6割、中学校に至っては約2割とせっかく整備した機器が十分に活用されていない。ある学校ではインフルエンザで学級閉鎖になっても元気な子どもたちは自宅で勉強ができる。そうした事態への対応も普段からICT機器を活用していなければ難しいと思う。関連して、40PのICTを活用する能力を持つ教員の割合は非常に多いが、授業の中で活用している方は少ないのではと感じる。ICT支援員の配置、特に地域の人材活用について、積極的に取り入れていただきたい。

- ⇒・1人1台端末を整備しているが今一つ活用しきれていない状況であり、学校や教員によって子どもたちへの教育に差が出てはいけないと考えている。(教育長)
- ・様々なデータの年度更新やICT機器の授業への活用方法を研究するために学校からの要望により、来年度以降ICT支援員の配置を検討している。(市長)

(2) その他

【第3期都留市教育大綱・都留市教育振興基本計画の策定に向けたスケジュールについて】
(説明者：企画課企画担当)

ご審議いただいた「第3期都留市教育大綱・教育振興基本計画(案)」について、2月6日(木)から27日(木)までの間、パブリック・コメントを実施し、市民等から広く意見を募る。いただいた意見等についてはその内容を確認し、必要に応じて大綱・計画の修正を行い、3月末に実施する令和6年度第3回総合教育会議において最終的な協議を行い、策定となる。

4. 閉会